

青森県 秋季高校野球

▶第2日◀

8強出そろそろ

秋季青森県高校野球選手権大会第2日は15日、弘前市はるか夢、青森県営、黒石市営の3球場で2回戦8試合を行った。

県南勢は「大」が五農を下して準々決勝進出。八学野西は東義にサヨナラ負けを喫した。七戸・野辺地・六ヶ所連合、八戸西・大湊むつも大敗し、県南勢の8強入りは1校だけとなった。

第3日の16日は、はるか夢と県営で準々決勝4試合を行う。（取材地）

▽準々決勝

【青森県営】
東 10・00
青森山田 12・30

【弘前はるか夢】
青 10・00
工大一青森商 12・30

野西 あと一歩



【八学野西―東義】3回八学野西2死二塁、細越楓斗の中心適時打で二走佐藤拓弥（左）が生還し、2―2の同点とする。八学野西は三回に2点を追う三回2死二塁から佐藤、細越、野西の3連打でリードを奪った。追い付かれて迎えた八、九回には満塁の好機をつかんだが、生かせなかった。

「甘き出た」悔やむ
○：八学野西は三回に2点ヒアインドを逆転。四回に追い付かれてからも八、九回に満塁の好機をつくるなど粘りを見せたが、あと1本が出ず、結局サヨナラ負け。細越楓斗主将は「一本が欲しいところが出なかった。ボール球に手を出すなど、チームとしての甘さが出た」と悔しさをにじませた。

八学野西 03000000
東義 01000011
4 3

▽三塁打 小田桐、佐藤宏、長浜、秋元
▽二塁打 村田、西野
▽暴投 村田（八）
▽試合時間 2時間17分
▽球審 澤田、塁審 高木

【評】東義は同点で迎えた九回2死三塁、原田が遊撃内野安打を放ちサヨナラ勝ちした。八学野西は2点を追う三回2死二塁から佐藤、細越、野西の3連打でリードを奪った。追い付かれて迎えた八、九回には満塁の好機をつかんだが、生かせなかった。

三回に右越え一塁打を放つなど3安打と気を吐いた主砲野西遊斗は「狙いを直球に絞り、大振りせずにコンパクトに振った結果」と自身の内容には納得の様

子。それでも「勝負所で打つために、全員が精神的な部分を鍛えない」と、冬場の鍛錬を誓った。

八学野西・村田 先発し七回途中3失点降板。負けたら悔しい」と、冬場の鍛錬を感じ、球が

八学野西・村田 先発し七回途中3失点降板。負けたら悔しい」と、冬場の鍛錬を感じ、球が